



(題字 瀧澤 弘 学長)

第443号
(平成13年11月号)

11月のトピックス

◇ 10日 教育学部附属小学校プラスバンド部がCBCこども音楽コンクール中部日本決勝大会で最優秀賞を受賞



◇ 24日 本学合唱団が全日本合唱コンクール全国大会で銅賞を受賞



目 次

関係法令	3
学内規則	
◆ 富山大学理学部規則の一部を改正する規則の制定	3
諸会議	7
学 事	
◆ 再編・統合①	8
人事異動	10
学内諸報	
◆ 新学長に瀧澤本学名誉教授，新副学長に風巻理学部教授及び塩澤工学部教授が就任	11
◆ 平成13年度富山県留学生等交流推進会議総会を開催	12
◆ 平成13年度第2回事務職員啓発セミナーを開催	12
◆ 教育学部附属小学校プラスバンド部がCBCこども音楽コンクール中部日本決勝大会で最優秀賞を受賞	13
◆ 環日本海学会学術研究大会を開催	13
◆ 映画監督の本木克英氏が附属中学校で講演	13
◆ 第2回五福キャンパスの構内一斉清掃を実施	14
◆ 本学合唱団が全日本合唱コンクール全国大会で銅賞を受賞	14
◆ 平成13年度文部科学省永年勤続者表彰伝達式を挙行	14
◆ 平成14年度特別選抜（推薦入学，帰国子女及び社会人）試験を実施	15
◆ 教育学部附属小学校教育課程フォーラムを開催	15
◆ 学内レクリエーション	16
☆ 樺平の自然を満喫	16
☆ 卓球大会を開催	16
☆ 釣大会を開催	16
☆ ゴルフ大会を開催	17
◆ 募金	17
◆ 海外渡航者	18
職員消息	18
主要行事	19
お知らせ	21

関 係 法 令

(法 律)

- 一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律 (124) (平成13. 11. 28官報号外第252号)

(規 則)

- 特例一時金 (人事院 9 - 110) (平成13. 11. 28官報号外第252号)

(省 令)

- 学校教育法施行規則の一部を改正する省令 (総務147) (平成13. 11. 27官報第3250号)

(告 示)

- 無線従事者国家試験の一部を免除する学校等を認定した件等の一部を変更する件 (総務675) (平成13. 11. 2官報第3234号)
- 高等学校に文部科学大臣が定める年数以上在学した者に準ずる者を定める件 (文部科学167) (平成13. 11. 27官報第3250号)
- 学校教育法施行規則第69条第5号の要件を定める件を廃止する件 (同168) (同)

学 内 規 則

富山大学理学部規則の一部を改正する規則の制定

富山大学理学部規則の改正理由

富山大学理学部物理学科及び化学科の専門科目のカリキュラムを見直し、教育の内容の充実を図るため、所要事項を改める。

富山大学理学部規則 (昭和52年 5 月16日制定) の一部を次のように改正する。

平成13年11月30日

富山大学長 瀧 澤 弘

富山大学理学部規則の一部を改正する規則

別表 I (第 3 条第 2 項関係) 物理学科及び化学科の表並びに別表 II (第 4 条関係) を次のように改める。

別表Ⅰ（第3条第2項関係）

物理学科

専門基礎科目	単位数		専攻科目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
微分積分学Ⅰ	2		物理数学A	4	
微分積分学Ⅱ	2		物理数学B		4
線形代数学	2		力学Ⅰ	6	
応用数学基礎	2		力学Ⅱ		4
計算機演習	2		電磁気学Ⅰ	6	
化学序説Ⅰ		2	電磁気学Ⅱ		4
化学序説Ⅱ		2	熱統計学Ⅰ	4	
化学概論Ⅰ		2	熱統計学Ⅱ		4
化学概論Ⅱ		2	量子力学Ⅰ	6	
生物学序説Ⅰ		2	量子力学Ⅱ		4
生物学序説Ⅱ		2	量子力学特論		2
生物学概論Ⅰ		2	光学		2
生物学概論Ⅱ		2	相対論		2
地球科学序説Ⅰ		2	物理実験学A	2	
地球科学序説Ⅱ		2	物理実験学B		2
地球科学概論Ⅰ		2	物理学実験Ⅰ	2	
地球科学概論Ⅱ		2	物理学実験Ⅱ(物性A)	2	
生物圏環境科学概論Ⅰ		2	物理学実験Ⅱ(物性B)	2	
生物圏環境科学概論Ⅱ		2	物理学実験Ⅱ(量子)	2	
放射線基礎学		2	物性物理学A		4
基礎化学実験		1	物性物理学B		4
基礎生物学実験		1	物性物理学特論		2
基礎地球科学実験		1	核物理学A		2
基礎生物圏環境科学実験		1	核物理学B		2
総合演習		2	核物理学特論		2
学外体験実習		1又は2	電磁波物理学A		2
			電磁波物理学B		2
			電磁波物理学特論		2
			科学英語		2
			洋書講読	2	
			物理学特別講義		*
			卒業論文	12	

*印を付した物理学特別講義の単位数は、必要に応じて定める。

化学科

専門基礎科目	単位数		専攻科目	単位数	
	必修	選択		必修	選択
微分積分学Ⅰ		2	基礎物理化学Ⅰ	2	
微分積分学Ⅱ		2	基礎物理化学Ⅱ	2	
線形代数学		2	無機化学	2	
応用数学基礎		2	化学平衡学	2	
計算機演習		2	化学反応学	2	
物理学序説Ⅰ		2	構造化学	2	
物理学序説Ⅱ		2	量子化学	2	
物理学概論Ⅰ		2	化学熱力学		2
物理学概論Ⅱ		2	触媒化学		2
生物学序説Ⅰ		2	分子分光学		2
生物学序説Ⅱ		2	分子物性学		2
生物学概論Ⅰ		2	遷移金属化学		2
生物学概論Ⅱ		2	構造溶液化学		2
地球科学序説Ⅰ		2	材料科学		2
地球科学序説Ⅱ		2	化学工学		2
地球科学概論Ⅰ		2	物理化学特論Ⅰ		1
地球科学概論Ⅱ		2	物理化学特論Ⅱ		1
生物圏環境科学概論Ⅰ		2	無機化学特論		2
生物圏環境科学概論Ⅱ		2	分析化学特論		2
放射線基礎学		2	物理化学実験	3	
基礎物理学実験		1	無機分析化学実験	3	
基礎生物学実験		1	プログラミング実習	1	
基礎地球科学実験		1	基礎有機化学	2	
基礎生物圏環境科学実験		1	有機化学Ⅰ	2	
基礎化学実験	1		有機化学Ⅱ	2	
総合演習		2	有機化学Ⅲ	2	
学外体験実習		1又は2	芳香族化学	2	
			構造有機化学	2	
			反応有機化学	2	
			生体物質化学		2
			合成有機化学		2
			高分子化学		1
			生化学		2
			有機化学特論Ⅰ		1
			有機化学特論Ⅱ		1
			有機化学実験	6	
			水環境化学	2	
			環境化学演習		2
			環境化学計測		2
			計測化学特別講義		1
			科学英語		4
			化学演習		*
			化学特別講義		*
			卒業論文	12	

*印を付した化学演習, 化学特別講義の単位数は, 必要に応じて定める。

別表Ⅱ（第4条関係）

卒業に必要な修得単位数

区 分	数 学 科		物 理 学 科		化 学 科		生 物 学 科		地 球 学 科		生 物 圏 環 境 学 科			
	必修	選 択	必修	選 択	必修	選 択	必修	選 択	必修	選 択	必修	選 択		
教養科目	教養原論 (人文科学・ 社会科学系)		12又は14		12又は14		12又は14		12又は14		12又は14			
	総合科目		6又は4		6又は4		6又は4		6又は4		6又は4			
	小 計		18		18		18		18		18			
共通基礎科目	外国語科目 (英語を含む 2カ国語)		8		8		8		8		8			
	保健体育科目		2		2		2		2		2			
	情報処理科目 又は言語表現 科目		2		2		2		2		2			
	小 計		12		12		12		12		12			
専門科目	専門基礎科目		12	8	10	10	1	19		20		20		
	専攻科目		42	22	50	14	55	9	34	30	31	33	50	14
	小 計		54	30	60	24	56	28	34	50	31	53	50	34
自由(選択)科目			10		10		10		10		10		10	
合 計		124		124		124		124		124		124		
1 教養原論は、人文科学系及び社会科学系から各4単位以上選択し、12単位又は14単位を修得すること。 2 外国語は2カ国語（英語を含む。）を各4単位、計8単位以上を修得すること。 3 外国人留学生に対し、日本事情及び日本語に関する科目を開講しているが、修得方法は別に定める。 4 専攻科目の選択は、他学科の専攻科目（一部の科目を除く。）のうちからも選択することができる。 5 専門基礎科目の学外体験実習の修得単位は、自由（選択）科目として認定する。														

- 1 この規則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 平成13年度以前の入学者については、なお従前の例による。

**入学試験実施委員会 (11月1日)**

(審議事項)

- (1) 平成14年度入試情報開示について
- (2) 平成14年度入学試験の電算処理について

富山大学の教育業績評価の確立に関する検討委員会 (11月2日)

(協議事項)

- (1) 富山大学の教育業績評価の確立について

入学試験実施委員会 (11月5日)

(審議事項)

- (1) 平成14年度入学試験電算処理の仕様書について

富山大学の教育業績評価の確立に関する検討委員会 (11月12日)

(協議事項)

- (1) 富山大学の教育業績評価の確立について

入学試験実施委員会 (11月15日)

(審議事項)

- (1) 平成16年度入学者選抜に係る実施教科・科目について
- (2) 入試過誤再発防止について
- (3) 平成14年度特別選抜実施要項(案)について
- (4) 平成14年度大学入試センター試験志願者の分担(案)について
- (5) 平成14年度大学入試センター試験富山大学試験場の試験室、志願者及び監督者割当(案)について

就職委員会 (11月19日)

(審議事項)

- (1) 就職指導(教官・事務職員)担当者の研修会等について

富山大学の教育業績評価の確立に関する検討委員会 (11月19日)

(協議事項)

- (1) 富山大学の教育業績評価の確立について

保健管理センター運営委員会 (11月20日)

(議題)

- (1) 保健管理センター教員の選考について

施設整備委員会 (11月26日)

(審議事項)

- (1) 西田地方団地の有効活用について
- (2) 移行改修整備のための仮設講義棟整備について
- (3) 施設整備に伴う全学協力体制について

学生生活委員会 (11月27日)

(審議事項)

- (1) 学生団体からの要求書について
- (2) 学生団体の書類送付について
- (3) 平成14年度入学生行事日程(案)について
- (4) 入寮選考委員会について

学生相談連絡会議 (11月27日)

(議題)

- (1) 学生相談窓口の設置について

評議会 (11月30日)

(審議事項)

- (1) 富山大学理学部規則の一部改正について
- (2) 富山大学五福地区用地の拡張(交換)計画の中止について

**再 編 ・ 統 合 ①**

平成13年11月27日付け本学学内広報紙「富大速報」第1号に標記の記事が次のとおり掲載されました。

「富大速報」の発刊にあたって

富山大学長 瀧 澤 弘

本年6月に、小澤前学長から富山大学新生への千載一遇の機会として、県内3国立大学の再編統合の方針が提示されました。これを受けて評議会は「再編統合検討委員会」を設置し、平成15年度概算要求に向けて検討を進めることを決定しました。

これは3大学を寄せ集めるだけではなく、再編統合によって新しい分野の開拓をはじめ、研究教育の面で現在以上に充実した、また地域や国際社会への貢献をめざした新しい大学への出発を目指したものです。

さて従来、ややともすると委員会内での一部の発言や素案が、あたかも成果のように新聞などで報道されたり、また時には非常に不正確な内容の報道もあり、いろいろ困難をもたらしたこともありました。

この度、部会や委員会での検討内容や進捗状況をできる限り正確に学内にお知らせするため、速報を発行することにいたしました。検討内容や状況の把握とともに建設的な討議に資することを期待しています。

これまでの経過

○ 平成13年9月4日（火）開催の富山大学の在り方に関する検討特別委員会・国立大学の設置形態に関する検討特別委員会合同委員会は、『再編・統合に対する富山大学の基本的考え方』を策定した。

基本的考え方は、1) 現在までの経過、2) 本学の再編・統合問題に対する基本姿勢、3) 今後の対応から構成されている。

○ 平成13年9月7日（金）開催の第16回評議会は、『富山県内国立大学3機関の再編統合推進に関する合意書（案）』及び『同覚書（案）』を承認した。

合意書（案）は、次の4項目からなっている。

1) 3機関を再編統合し、平成15年4月を目途に新しい大学の創設を目指すこと、2) 3機関の特色を生かしつつ、新しい特色を打出すこと、3) 新大学の名称は、それにふさわしい新しい名称とすること、4) 3機関の現有する教育研究施設及びキャンパスを活用すること。

覚書（案）は、次の6項目からなっている。

1) 新大学は、地域社会や国際社会への貢献を最大の特色の一つとすること、2) 新大学の特色を打ち出すため、既存の学部組織にとらわれない組織の編成を図ること、3) 「トップ30」となり得る独立研究科の新設等新しい研究体制の整備を図ること、4) 特徴ある教養・基礎教育の充実を図ること、5) 新たな方法、

枠組みで組織の運営を行うこと、6) 新大学の創設に向け、適宜必要な委員会を組織し、検討を開始することとし、委員会には3機関が対等の立場で参加すること。

また、『国立大学再編・統合検討委員会要項』を制定し、学長、副学長、国立大学の設置形態に関する特別委員会委員、富山大学の在り方に関する検討特別委員会委員、事務局長及び学長が必要と認めた者を構成員とする『国立大学再編・統合検討委員会』（委員24名）を設置した。

- 平成13年9月11日（火）開催の国立大学再編・統合検討委員会は、委員6名、オブザーバー1名を構成員とする『国立大学再編・統合検討委員会ワーキンググループ』を設置し、『新大学のベーシックデザイン（案）』を策定することとした。
- 平成13年10月4日（木）開催の国立大学再編・統合検討委員会ワーキンググループは、1) 本学の基本姿勢、2) 新大学の特色、3) 学部、大学院、大学教育センターなどの編成、4) 管理運営、5) 全体に係る検討事項、6) 全体に係る提案で構成された『新大学のベーシックデザイン（案）』を取りまとめた。
- 平成13年10月5日（金）開催の国立大学再編・統合検討委員会は、『新大学のベーシックデザイン（案）』の報告を受けた。同案を叩き台の一つとして、引き続き新大学構想を検討することを確認した。
- 平成13年10月19日（金）開催の国立大学再編・統合検討委員会は、『国立大学再編・統合検討委員会部会申合せ』を制定し、『管理運営部会』、『学部部会』、『大学院部会』、『教養教育部会』及び『センター部会』を設置した。また、各部会間の連絡調整を行うため、学長、副学長、部会長、事務局長で組織する「部会連絡会」を設けた。平成13年10月24日（水）には5部会が同時開催され、各部会は部会長を互選した。

各部会委員名簿（◎：部会長、○：部会長代理）

管理運営部会	
副学長	風 巻 紀 彦
○教授	立 川 健 治
◎学部長	塚 野 州 一
教授	広 瀬 信
教授	八 木 保 夫
事務局長	坂 田 達 夫

学部部会	
◎副学長	塩 澤 和 章
教授	山 口 幸 祐
教授	渡 邊 信
教授	芳 賀 健 一
○学部長	岡 部 俊 夫
教授	池 野 進

大学院部会	
教授	増 田 信 彦
教授	平 井 美 朗
学部長	龍 山 智 榮
◎教授	黒 田 重 靖
教授	渡 辺 国 昭

教養教育部会	
学部長	矢 澤 英 一
教授	岡 村 信 孝
◎教授	松 崎 一 平
教授	山 地 啓 司
教授	金 森 寛

センター部会	
学部長	古 田 俊 吉
◎教授	渡 邊 義 之
教授	山 淵 龍 夫
教授	女 川 博 義
教授	大 石 昂
教授	丹 羽 昇

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏名	異動前の所属官職	異 動 内 容
採 用	13. 11. 1	瀧澤 弘		学長(～17. 10. 31)
昇 任	13. 11. 1	浅井 尚子	助教授 経済学部(経営法学科 民事法)	教 授 経済学部(経営法学科 民事法)
	"	西野 精一	講 師 工学部(機械知能システム工学科設計生産工学)	助教授 工学部(機械知能システム工学科設計生産工学)
配 置 換	13. 11. 1	石塚 久博	総務部研究協力課国際交流係主任	総務部研究協力課研究協力係主任
辞 職	13. 11. 1	小澤 浩	学 長	辞 職
	13. 11. 30	川淵 智美	事務補佐員(総務部総務課)	辞 職
併 任	13. 11. 1	風巻 紀彦	教 授(理学部)	副学長・評議員(～15. 10. 31)
	"	塩澤 和章	" (工学部)	" "
	"	池野 進	" "	評議員(～14. 3. 31)
	"	氏家 治	" (理学部)	地球科学科長(理学部)(～14. 10. 31)
併任解除	13. 11. 1	川崎 一郎	地球科学科長(理学部)	併任解除
	"	鈴木 孝志	副学長・評議員	"
	"	塩澤 和章	評議員	"
職務命令	13. 11. 1	鈴木 孝志	教 授(人文学部)	教養教育実施機構長を免ずる
	"	風巻 紀彦	" (理学部)	教養教育実施機構長を命ずる
臨時的任用	13. 11. 27	菅原 香		教 諭 教育学部附属養護学校(～14. 1. 7)
職務命令	◎富山県内国立大学再編・統合富山大学準備事務室関係			
	13. 11. 5	松永 良成	経理部主計課課長補佐	室長(専任)
	"	牧野 秀應	" 経理課専門員	室長補佐(専任)兼主幹(学部部会担当)
	"	杉本 周平	総務部企画室室長補佐	主幹(管理運営部会担当)
	"	向 雅巳	" 総務課専門員	" (大学院部会担当)
	"	高邑 欣市	学生部学生課専門員	" (教養教育部会担当)
	"	羽根 俊	総務部研究協力課専門員	" (センター部会担当)
	"	松本 修一	" 人事課給与係長	主査(管理運営部会担当)
	"	高森 満	経理部主計課司計係長	" (学部部会及び大学院部会担当)
	"	朝野 真	総務部総務課法規係長	" (学部部会及び大学院部会担当)
	"	寺林 忠男	学生部学生課教養教育係主任	" (教養教育部会担当)
	"	宮尾 幸一	総務部人事課専門職員	" (センター部会担当)
	"	岩城 稔	経理部主計課司計係主任	主任(学部部会及び大学院部会担当)
	"	浅畑美香子	総務部研究協力課事務補佐員	同室勤務

学 内 諸 報

新学長に瀧澤本学名誉教授，新副学長に風巻理学部教授及び塩澤工学部教授が就任

平成13年11月1日付けで、新学長に瀧澤 弘本学名誉教授が、新副学長に風巻紀彦理学部教授及び塩澤和章工学部教授が就任されました。任期は同日より新学長は4年間、新副学長は2年間。3氏の主な経歴及び抱負は次のとおりです。(瀧澤学長の主な経歴は学報第442号に掲載済みのため省略しました。)



(就任の抱負)

はじめに、新学長として、平成9年度、10年度における人文学部入試合否判定の誤りと、この事実が判明してから本年6月まで、本来合格していた16名の受験生を不合格のまま放置したことについて、16名並びにその関係者の方々の心情は察するにあまりあるものがあり、心からお詫び申し上げます。

また、これによって富山大学が社会的な信頼を失墜したこと、富山大学の卒業生をはじめ多くの学生諸君の心にも深い傷を与えたことは痛恨の極みであります。

この重い十字架を背負って、今富山大学では、教職員

が一丸となって信頼の回復に、また卒業生や在学生の諸君が胸をはって富山大学を誇りに思うことができるよう努力を重ねております。

さて、国立大学は地域社会に貢献しているのか、というご意見がありますが、富山大学はすでに「地域共同研究センター」や「生涯学習教育研究センター」等の早期の設置、全国に先駆けた附属図書館における一般市民への利用証の発行など、地域に開かれた大学を実現してきました。

研究と教育は大学の最大の使命ですが、このためには常に大胆な自己変革の意欲が必要です。この意欲を土台に、県内3国立大学の再編・統合問題の検討を契機として、さらなる知の創造と地域への貢献を進めたいと思っております。皆様方のご支援をお願い申し上げます。



風巻副学長は、昭和40年3月北海道教育大学を卒業、同42年東北大学大学院理学研究科修士課程(数学専攻)を修了後、同42年4月に東北大学理学部助手、同48年4月同大学教養部助教授、同53年4月に富山大学理学部教授に昇任され、現在に至っています。

この間、平成2年4月から同4年3月まで保健管理センター所長を、同3年4月から同7年3月まで評議員を、同7年4月から同11年3月まで理学部長を、同7年6月から同9年6月まで水素同位体機能研究センター長を併任されています。専門は確率過程論。

(就任の抱負)

この度、副学長を拝命することになりました。一介の

数学屋に過ぎず、もとより微力ではありますが、誠意をもって瀧澤学長を補佐してまいりたい、と考えております。どうかよろしくお願い致します。

当面は、富山医科薬科大学、高岡短期大学との再編・統合に全力を傾注することになります。国立大学の再編・統合は、国の構造改革という政治的な流れから生じた問題であり、大学が自ら望んだものではありませんが、教育と研究の両方の面で大きなメリットがありますので、是非これを実現しなければならない、と考えています。とはいえ、この問題は簡単ではありません。解決に時間がかかれば、上からの指導を受けるという最悪の事態もあり得ます。

さまざまな意見があっても、我々の主体的な意思に基づいてこの難局を乗り切りたいものです。皆様のご理解とご協力を心よりお願いする次第です。



塩澤副学長は、昭和43年3月立命館大学理工学部機械工学科を卒業、同45年3月同大学大学院理工学研究科修士課程を修了後、同48年4月富山大学工学部助手に採用され、同48年11月立命館大学大学院理工学研究科博士課程を修了、同49年1月富山大学工学部助教授、同63年4月富山大学工学部教授に昇任され、

現在に至っています。

この間、平成11年4月から同13年3月まで留学生センター長を、同13年6月1日から同年10月31日まで評議員を併任されています。専門は強度設計工学。

(就任の抱負)

本学が抱える様々な解決すべき問題点と任務の重さ並びに身の凡庸を考えますと、副学長をお引き受けすべき

分際で無いことを十分に承知しつつ、唐突に拝命することになりました。全学教職員の皆様のお力添えを得て、学長を補佐し、大学運営にまい進する覚悟を致しました。

激しい胎動と陣痛の始まった県内3国立大学の再編・統合問題と独立行政法人化問題は、各大学が有する機能を相互に補完・充実し、社会的要請に対応し得る優れた人材の養成機能を強化し、持続可能な社会の構築と人類の福祉に役立つ研究推進の機構を創出する立場から検討することが重要と考えます。地域に根ざし国際社会に貢献する優れた新大学の誕生は、時として厳しい痛みを伴うことが予想されます。その痛みを全大学人（教員、職員、学生）が共に分かち合い、英知を結集して対処する必要があります。

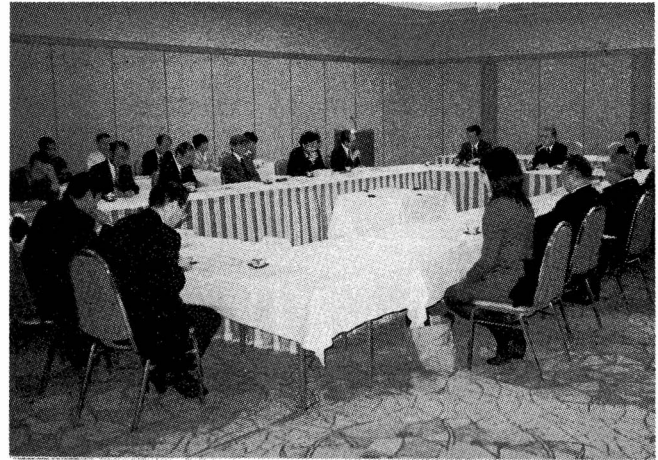
夢を語り合い、知の創造を基に富山から世界に向けて教育・研究情報を発信できる楽しい大学キャンパスの構築を目指して、冷静な判断力のもとに微力を尽くしたいと考えます。ご指導とご鞭撻をお願い致します。

平成13年度富山県留学生等交流推進会議総会を開催

平成13年度富山県留学生等交流推進会議総会が、11月8日（木）に富山市内のホテルで開催され、県内の高等教育機関、地方公共団体及び経済団体等から約30名が参加されました。

総会では、留学生宿舍の確保について、県内の各高等教育機関における留学生宿舍の取り組み状況等の説明が各機関からあり、協議の結果、留学生が入居できる「公的支援制度」を活用した留学生宿舍の確保に向けて、富山県や関係市町村等と調整していくことになりました。

また、引き続き、今後の留学生の受け入れや各種支援の参考とするための留学生との座談会が開かれ、富山医科薬科大学、富山県立大学、富山国際大学及び本学に在籍の留学生5名と推進会議委員との間で意見交換が行われました。



平成13年度第2回事務職員啓発セミナーを開催

平成13年度第2回本学事務職員啓発セミナーが11月9日（金）に黒田講堂において開催されました。

講師に亀井 崇 東京学芸大学学務部長を迎え、「学生に視点をおいたサービスについて」と題した、大学進学率や18歳人口等の現状や学生支援等について同氏の経験を踏まえた講演がありました。

会場となった同講堂の会議室には、多数の聴衆が参加し、熱心にメモをとっていました。



△ 講演する亀井学務部長

教育学部附属小学校プラスバンド部がCBCこども音楽コンクール中部日本決勝大会で最優秀賞を受賞

11月10日（土）に名古屋市で開催された「CBCこども音楽コンクール中部日本決勝大会」の小学校管楽合奏部門で、富山県代表として出場した本学教育学部附属小学校プラスバンド部が最優秀賞を受賞しました。

同校は昨年に引き続いての連続出場であり、大会ではリード作曲の「吹奏楽のための第二組曲から」を演奏し、バランスの取れた質の高さが評価され、初の栄冠を獲得

しました。

プラスバンド部は2～6年生の30人の部員で構成され、低学年の児童が多い中、その健闘が高く評価されています。

なお、同大会での演奏はテープに収められ、来年1月に東京で開催される文部科学大臣奨励賞選考会に送られました。

環日本海学会学術研究大会を開催

本学極東地域研究センターの研究内容と関係が深い環日本海学会第7回学術研究大会が同センターの支援を受けて11月10日（土）～11日（日）に富山県民会館及び名鉄トヤマホテルを会場として開催されました。

このうち、10日には「北東アジアの地域交流と新しい世紀」をテーマとする国際シンポジウムが企画され、池 明観・韓国翰林^{かんりん}大学校翰林科学院日本学研究所長による基調講演の後、本学の佐藤幸男教育学部教授がコーディネーターとなって、4人のパネリストによるパネルディスカッションが開催されました。

また、翌11日には4分野の分科会が催され、「歴史、文化、交流」や「政治、外交」等計22の報告がありました。



映画監督の本木克英氏が附属中学校で講演

映画「釣りバカ日誌」シリーズで知られる映画監督の本木克英氏が11月11日（日）に母校の附属中学校を訪れ、「映画監督という生き方」と題した講演の中で、映画への情熱を語りました。

これは、同校PTAで作る教育サポート委員会が、生徒達の将来を考える機会になればとOBの本木氏に依頼したものであり、講演会場となった同校体育館には生徒

約500人の他、保護者や地域住民等約250人が集まりました。

同氏は映画撮影のエピソードをユーモアを交えて「映画を作ることで、自分のメッセージを伝えて様々な人達と対話できる。映画は自分の生きた証だと思っている。」と語り、生徒達は熱心に聴き入っていました。

第2回五福キャンパスの構内一斉清掃を実施

11月21日（水）及び22日（木）に今年度の第2回構内一斉清掃が約1時間にわたり実施されました。

当日は小春日和の好天に恵まれ、教職員多数の他、学生約250人が参加し、構内の落ち葉や空き缶、吸い殻及び紙屑等を収集し、キャンパスの環境維持に努めました。



本学合唱団が全日本合唱コンクール全国大会で銅賞を受賞

福島県郡山市市民文化センターで11月24日（土）から開催された第54回全日本合唱コンクール全国大会で、中部代表として出場した本学合唱団が大学部門Aにおいて銅賞を受賞しました。

大会の自由曲では得意のラテン語の宗教曲の「Laudate Dominum（主を讃えよ）Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を演奏し、如何に言葉を伝えることができるかを課題にして練習してきた

成果をのびのびした表現で歌い上げました。

指揮者を務められた森川紀博さんは、「中部大会後、一時期気持ちが途切れてしまった時もあったが、今日はいい演奏ができました。気持ちが乗っていました。」と語り、また、団長の慶林坊正美さん（人文学部3年）は、「事前まで調整をしていた部分もあり、今日は90点位の出来です。」と控えめながら笑顔で話していました。

平成13年度文部科学省永年勤続者表彰伝達式を挙行

11月26日（月）に文部科学省永年勤続者表彰伝達式（勤続20年）が事務局小会議室において行われました。

伝達式は、事務局長及び総務部長が列席し、瀧澤学長から被表彰者に対し表彰状と記念品（銀杯）が贈られ、永年の労をねぎらわれました。

なお、表彰された方々は次のとおりです。

被表彰者（勤続20年）

附属図書館事務部長	東	高	明
経理部経理課長	加賀美		實
人文学部・理学部事務長	新田	昌	六
経済学部事務長	村中		一男



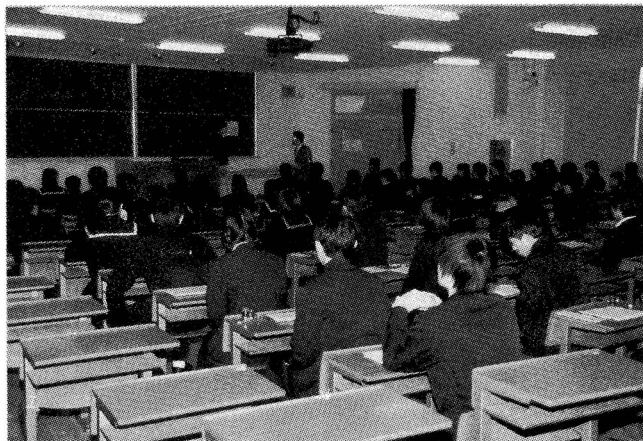
平成14年度特別選抜（推薦入学，帰国子女及び社会人）試験を実施

本学の平成14年度特別選抜（推薦入学，帰国子女及び社会人）試験が11月28日（水）に実施されました。

このうち，推薦入学試験は人文学部を除く4学部で行われ，総計195人の募集に対し，438人が受験し，平均倍率は約2.5倍となりました。60人の募集人員に対して昨年より23人多い129人が志願した経済学部では，午前9時30分から小論文試験が行われ，受験生達が真剣な表情で取り組んでいました。

また，帰国子女試験では各学部の若干名の募集に対して，経済学部及び理学部で各1人が，社会人試験には，全学部で58人（募集人員45人）が受験しました。

なお，人文学部の推薦入学試験は平成14年1月23日（水）に実施され，合格発表は同年2月10日（日）の予定です。



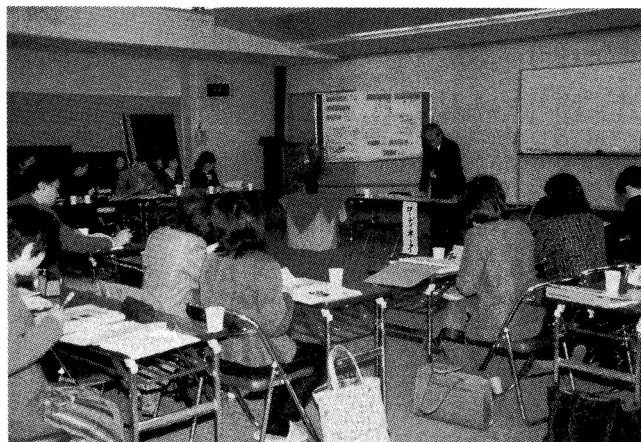
教育学部附属小学校教育課程フォーラムを開催

来年度から新学習指導要領が導入されるのを受けて，本学附属小学校において，11月28日（水）に教育課程フォーラムが開催され，県内外の小学校関係者が本格的に始まる総合的な学習の在り方について話し合いました。

会議では，「学校管理」，「生活・総合」，「教科・道徳・特別活動」の3分科会に分かれて各学校の取り組み状況について討論が行われ，「総合学習について学校全体で共通理解を図る必要がある」等の意見がありました。

引き続き，全体会が開催され，各分科会で出た問題点等について話し合われました。

なお，附属小学校の新教育課程（平成14年度版）を示したファイル（通称「めざせ授業の鉄人」）が参加者に配付されました。



△分科会「生活・総合」

学 内 レ ク リ エ ー シ ョ ン

樺平の自然を満喫

平成13年度学内レクリエーション探訪小旅行（溪谷美と樺平周辺の散策）が10月20日（土）に実施されました。

当日は、肌寒さも感じられましたが、行楽日和の雲一つない青空のもと34名が、朝8時30分に本学黒田講堂前をバスで出発し、宇奈月駅からトロッコ電車（黒部峡谷鉄道）に乗り、お昼頃に樺平に到着しました。参加者は、昼食をはさんで2時間余りにわたって登山道を散策して森林浴を楽しんだり、露天風呂で日頃の疲れを癒したり、あるいは、博物館（ビジターセンター）を見学したりしてさわやかな秋の一日を満喫していました。



卓球大会を開催

平成13年度学内レクリエーション卓球大会が11月16日（金）に本学第2体育館で開催されました。

今大会は、30名の職員の参加があり、5チームの部局対抗の団体戦形式で、総当たり戦の11点・3セット方式で行われました。試合は、実力の差からあっけなく終わるものや、最終戦で1点を争う接戦などもあり、周囲から声援が飛ぶ中、熱い戦いが展開されました。

なお、成績は次のとおりです。

- ☆優勝 経済学部・工学部・附属図書館Aチーム
- ☆準優勝 人文学部・教育学部・理学部チーム
- ☆3位 経理部・施設課チーム



釣り大会を開催

平成13年度学内レクリエーション釣り大会が、11月17日（土）に富山新港東防波堤周辺において開催されました。

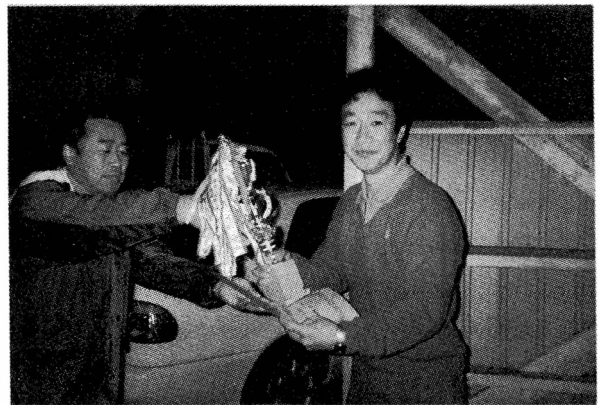
大会当日は、あいにくの強い雨の中、釣り好きの職員11名の参加があり、競技時間内で釣果の重量を競う形式で行われ、魚種としては、カワハギ、ハゼ、コダイ、コノシロ、サヨリなどが多く見られ、中にはシマダイ、メジナ、シャコも釣れました。冷たい雨の中では、外気温よりも魚の方が温かいという状況で、釣果も今ひとつでしたが、1,350gの記録を収めた小越信行厚生課長が2位に20gの僅差で、昨年度準優勝の雪辱を果たし、初優勝を飾りました。

なお、成績は次のとおりです。

- ☆優勝 小越信行（学生部）1,350g

☆準優勝 保正邦久（学生部）1,330g

☆3位 森田憲治（経理部）940g



△優勝者へのトロフィー授与

ゴルフ大会を開催

平成13年度学内レクリエーション第28回富山大学ゴルフ大会が、11月21日（水）に小杉カントリークラブにおいて開催されました。

大会当日は、初冬には珍しい晴天で、絶好のゴルフ日和となり、腕に覚えのある職員25名の参加がありました。参加者の多くは、日頃から練習に余念がないようで、ハンディー・キャップは20以下で、見事なショットを連発する場面もありました。試合は、例年どおりの接戦となり、教育学部の大川信行助教授が優勝を飾りました。

なお、成績は次のとおりです。

☆優勝 大川 信 行（教育学部）72.6（NET）

☆準優勝 大石 昂（生涯学習）74.6（NET）

☆3位 山西 潤 一（教育学部）75.0（NET）



募 金

平成9年度及び平成10年度本学人文学部入学者選抜試験による合否判定過誤とその後の対応の誤りにより、新たに合格された皆様に本学としての謝罪の意を表すための全学募金が開始されました。

趣 意 書

平成9年度及び平成10年度富山大学人文学部入学者選抜試験における合否判定過誤とその後の対応の誤りにより、受験生及びそのご家族には、多大なご迷惑をおかけしました。また、国立大学の入学試験制度の信用を失墜させることになり、その社会的責任の重大さを痛感しているところであります。

合否判定過誤の内容、その経緯、原因分析及び再発防止策の検討並びに責任の所在と関係者の処分の内容等については、本年8月9日付文書「富山大学における入学者選抜試験における合否判定過誤とその後の対応の誤りについて」並びに本学ホームページでお知らせしているところであり、全学教職員の皆様には事態の重大さをご認識のことと思います。

既に、受験生とそのご家族には、人文学部教員が出向いて、お詫びを申し上げ、合否判定過誤とその後の対応の誤りについて説明するとともに、受験生が被った経済的負担等について照会し、国としての対応を進めているところです。

経済的償いによって精神的負担が軽減されるものではないことは重々承知しておりますが、富山大学を挙げて国立大学として果たすべき使命を真摯に受け止めるとともに、お詫びの誠意を表す必要があると考えます。人文学部では、受験生へのお詫びや就学支援のための基金を立ち上げ、さらに今後も募金活動を行うこととしており、国の補償とは別に、本学の対応として、全教職員の皆様に募金の呼びかけを行うことと致しました。

何かと出費のかさむ折り、誠に恐縮に存じますが、どうぞこの趣旨にご理解を賜わり、ご賛同いただきますよう伏してご協力をお願い申し上げます。

海 外 渡 航 者

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡航先国	目 的	期 間
外国出張	教育学部	教授	雨宮洋司	中国	環日本海諸国の大学での教育学部学生のための集中講義・教育実習プログラムの作成とその実施のため	13. 11. 7 } 13. 11. 10
	経済学部	助教授	秋葉悦子	イタリア	国際会議“The Stem Cell Dilemma-For the Good of All Human Begings?”に出席, 報告	13. 11. 9 } 13. 11. 19
	教育学部	教授	山西潤一	韓国	ICCE(the International Conference on Computers in Education)に出席, 研究発表	13. 11. 11 } 13. 11. 13
	経済学部	助教授	馬 駿	中国	中国の国有企業改革に関する研究調査	13. 11. 19 } 13. 11. 28
	工学部	助手	中 茂樹	アメリカ合衆国	MRS 2001 Fall Meetingに出席, 研究発表	13. 11. 24 } 13. 12. 3
	工学部	助教授	堀田裕弘	連合王国, ドイツ, フランス	映像品質の評価技術とその動画像処理に関する研究打ち合わせ	13. 11. 30 } 14. 9. 30
海外研修	経済学部	教授	清家彰敏	中国	国際シンポジウム「日本と東アジア経済協力」に参加	13. 11. 7 } 13. 11. 14
	経済学部	教授	小倉利丸	韓国, アメリカ合衆国	Asia Internet Rights Conferenceに出席, 報告	13. 11. 7 } 13. 11. 17
	経済学部	助教授	内田康郎	中国	中国進出企業への調査	13. 11. 19 } 13. 11. 26
	経済学部	教授	小倉利丸	ウルグアイ	進歩的コミュニケーション協会(APC)主催のコンファレンスに出席, 報告	13. 11. 23 } 13. 12. 3
	工学部	助手	喜久田寿郎	アメリカ合衆国	MRS 2001秋ミーティングに出席, 発表	13. 11. 24 } 13. 12. 5

職 員 消 息

《旧姓使用》

部 局	氏 名	使用する氏名
人文学部	長井由里	澁谷由里
人文学部	緒方真子	藤野真子

主 要 行 事

本 部

- | | | | |
|---------|--|-------------------------------------|--|
| 11月1日 | 入学試験実施委員会 | 21日～22日 | 低温液化室運営委員会（持ち回り）
構内一斉清掃 |
| 2日 | 県内大学・高専施設事務協議会
富山大学の教育業績評価の確立に関する検討委員会 | 26日 | 事務局連絡会
施設整備委員会
文部科学省永年勤続者表彰伝達式 |
| 5日 | 事務局連絡会
入学試験実施委員会 | 27日 | 事務協議会
学生生活委員会
運営会議
学生相談連絡会議 |
| 6日 | 国立大学留学生課長会議（於：神戸大学）
運営会議 | 国立大学法人化に関する情報交換会（於：名古屋大学） | |
| 6日～12日 | 特別選抜願書受付 | 28日 | 特別選抜学力試験
就職講演会 |
| 7日 | 評議会（臨時）
就職講演会 | 29日 | ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー運営委員会
留学生センター第2回教育・研究フォーラム（於：富山大学） |
| 7日～9日 | 中部地区管理監督者研修（於：愛知レクリエーションセンター「三河ハイツ」） | 東海・北陸・近畿地区学生指導研究会北陸地区部課長研究会（於：富山大学） | |
| 8日～9日 | 国立大学等研究協力部課長会議（於：名古屋市） | 30日 | 部局長会議
国立大学再編・統合検討委員会
評議会 |
| 8日 | 富山県留学生等交流推進会議総会（於：名鉄トヤマホテル） | | |
| 9日 | 事務職員啓発セミナー
富山大学OB・事務系職員懇談会 | | |
| 12日 | 事務局連絡会
富山大学の教育業績評価の確立に関する検討委員会 | | |
| 13日～16日 | 北陸地区国立学校等監督者研修（於：富山大学） | | |
| 14日 | 国立大学協会総会（於：学士会館）
公務員採用試験講演会 | | |
| 15日 | 国立大学長懇談会（於：学士会館）
入学試験実施委員会 | | |
| 16日 | 国立大学協会事務連絡会議（於：学士会館）
放射性同位元素総合実験室運営委員会（持ち回り） | | |
| 19日 | 事務連絡会
就職委員会
富山県大学学生部懇談会（於：富山県立大学）
富山大学の教育業績評価の確立に関する検討委員会 | | |
| 21日 | 北陸地区国立大学長懇談会（於：金沢大学） | | |

人 文 学 部

- | | |
|-------|--|
| 11月2日 | 学部入学試験委員会 |
| 5日 | 学部総務委員会 |
| 6日 | 緊急対策委員会 |
| 7日 | 教授会（人事）
教授会 |
| 8日 | 学部特別昇給委員会 |
| 9日 | 学部教務委員会 |
| 14日 | 学部総務委員会
学部国際交流委員会
研究科小委員会
緊急対策委員会 |
| 20日 | 学部将来計画委員会
学部予算委員会（持ち回り） |
| 21日 | 教授会（人事）
教授会 |

- 26日 緊急対策委員会
 28日 平成14年度富山大学人文学部帰国子女・社会
 人特別選抜学力検査
 研究科小委員会

経 済 学 部

- 11月2日 学部総務委員会
 6日 学部学生生活委員会
 7日 情報処理委員会
 学部教務委員会
 学部入学試験委員会
 9日 夜間教育実施大学学部長・第二部主事会議
 (於：KKR HOTEL TOKYO)
 14日 人事教授会
 研究科委員会
 教授会
 図書等委員会 (持ち回り)
 16日 秋季国立12大学経済学部・経営学部学部長及
 び事務長会議 (於：メルパルクTOKYO)
 21日 校内一斉清掃
 22日 将来構想等検討委員会
 28日 特別選抜, 第3年次編入学検査
 学部教務委員会
 30日 学部自己点検評価委員会

教 育 学 部

- 11月3日
 ～5日 「富山大学親子フェスティバル」(生涯学
 習教育研究センターと共催)
 7日 学部教務委員会
 学部入学試験委員会
 8日 学部国際交流委員会
 9日 学部配分比率評価委員会
 富山県教育委員会と富山大学教育学部との
 連絡協議会
 日本教育大学協会新課程連絡協議会(京都
 市大学のまち交流センター)
 13日 教育学部及び附属学校園共同研究プロジェ
 クト運営委員会
 13日～15日 附属養護学校(小・中学部)並びに附属幼
 稚園入学(園)願書受付
 14日 研究科小委員会
 研究科委員会
 教授会
 人事教授会
 15日 学部教官懇談会
 20日 学部学生生活委員会
 附属小学校創校記念音楽会
 附属中学校校内合唱コンクール(於：富山
 県民会館大ホール)
 21日 学部校内一斉清掃
 学部紀要編集委員会
 学部防火対策委員会
 学部拡大将来計画委員会
 学部図書委員会
 26日 附属中学校・事務室避難訓練
 28日 特別選抜学力試験
 教授会
 附属小学校教育課程フォーラム
 29日 日本教育大学協会北陸地区新課程研究協議
 会(於：上越教育大学)

理 学 部

- 11月6日 出前講義(舟橋中学校)
 学部施設委員会
 7日 学部入試委員会
 学部教務委員会
 学科長会議
 理学部将来計画策定ワーキンググループ会議
 12日 大学院理工学研究科博士前期課程理学部会教
 育委員会
 学科長・学部施設委員合同委員会
 動物実験安全専門委員会(持ち回り)
 14日 大学院理工学研究科博士前期課程理学部会
 教授会
 人事教授会
 大学院理工学研究科博士後期課程部会
 16日 理学部将来計画策定ワーキンググループ会議
 21日 学部予算委員会
 理学部将来計画策定ワーキンググループ会議
 古紙回収
 一斉清掃
 22日 学科長会議
 学部入試委員会(持ち回り)

- 28日 推薦入学等特別選抜学力検査
理学部将来計画策定ワーキンググループ会議
学科長会議
- 29日 学部広報委員会
- 30日 学科長会議

工 学 部

- 11月5日 工学視学委員実地視察
- 8日 外国人留学生委員会
- 12日 学部将来計画委員会
- 13日 学部入学試験検討委員会
教務委員会
学部図書委員会
- 14日 教授会
専任教授会
理工学研究科博士前期課程工学部会
工学研究科博士後期課程委員会
理工学研究科博士後期課程部会
学部安全委員会
- 20日 自己点検評価委員会
- 22日 学部将来計画委員会
学部入学試験検討委員会
- 26日 学部国際交流委員会
- 28日 学部将来計画委員会
特別選抜学力試験

- 29日 学部長と助教授・講師・助手との懇談会

附 属 図 書 館

- 11月5日
～6日 平成13年度北信越地区国立大学図書館研修会（於：福井医科大学）
- 29日～30日 平成13年度北信越地区国立大学図書館事務部課長会議（於：信州大学）

地域共同研究センター

- 11月8日 運営委員会（持ち回り）
- 29日 特別講義
演題：「特許と知的所有権の世界」
講師：長谷川 芳樹（地域共同研究センター
客員教授，創英国際特許法法律事務所
所所長）

総合情報処理センター

- 11月27日 運営委員会

保健管理センター

- 11月20日 運営委員会

お 知 ら せ

株式所有等により営利企業の経営に参加し得る 地位にある職員の報告について

このことについて、人事院規則14-21（株式所有等により営利企業の経営に参加し得る地位にある職員の報告等）に基づき、国家公務員が株式等を所有している場合で、一定の要件（発行済株式総数の3分の1を超える株式を有しており、かつ、当該株式に係る会社が職員が在職する機関（富山大学）と密接な関係があること等）に該当する場合、その職員には人事院への報告義務が課せられていますので、該当の方は、至急、総務部人事課職員係（内線6019）へお知らせください。

給与法の改正について

平成13年度の人事院勧告の内容については、既に学報第440号（平成13年8月号）でお知らせしていましたが、このたび、一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律が国会の審議を経て成立しました。

改正点は、下記のとおりです。

記

1 期末・勤勉手当

年間支給月数 4.75月分 → 4.7月分 (△0.05月分)

6月期 2.05月分 (変更なし)

12月期 2.15月分 → 2.1月分 (△0.05月分)

3月期 0.55月分 (変更なし)

2 期末特別手当 (指定職俸給表適用者が該当します。)

年間支給月数 3.6月分 → 3.55月分 (△0.05月分)

6月期 1.45月分 (変更なし)

12月期 1.6月分 → 1.55月分 (△0.05月分)

3月期 0.55月分 (変更なし)

3 特例一時金

当分の間、各年度の3月1日(基準日)に給与法に基づく俸給表(指定職俸給表を除く。)の適用を受ける職員に対し、原則年額3,756円を3月15日に支給する。

4 改正法適用年月日 平成13年4月1日

訂 正

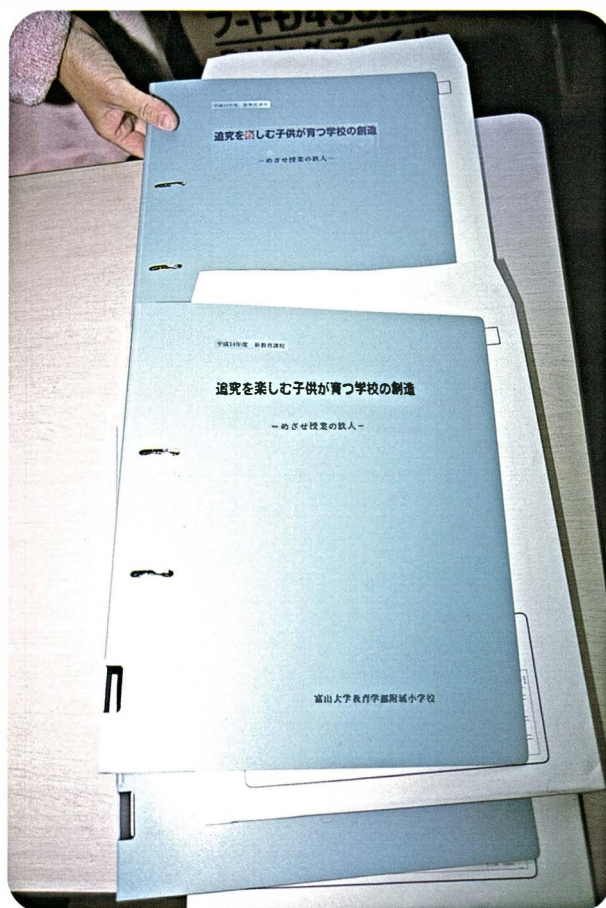
第442号15ページの人事異動に誤りがありました。

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容	
				誤	正
職務命令	13.10.1	加賀谷重浩	講 師 工学部	水質保全センター勤務を命ずる	水質保全センター勤務を免ずる

お詫びして訂正します。



△ 附属中学校で講演する本木克英氏



△ 附属小学校の新教育課程ファイル（通称「めざせ授業の鉄人」）

編集 富山大学総務部企画室 〒930-8555富山市五福3190 TEL. (076) 445-6029 FAX. (076) 445-6033
印刷所 あげぼの企画(株) 〒930-0031富山市住吉町1-5-8 TEL. (076) 424-1755 FAX. (076) 423-8899